高等学校 令和５年度（１学年用） 教科　芸術　　科目 美術Ⅰ

教　科：芸術　　科　目：美術Ⅰ　　単位数：2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　8 組

教科担当者：

使用教科書：（『美術1』(光村図書）　　）

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目　美術Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			絵・彫	デ	映						
1学期	オリエンテーション	指導事項 ・自己紹介 ・年間授業計画と評価 ・使用教材セットの内容確認 ・教科書の内容紹介								○	2
1学期	「平面構成デザイン」 【知識及び技能】 ・色彩の効果を理解し、効果的に配色できるようにする。 ・形態の特質を理解し、構図に活かせるようにする。 ・材料用具の特長を理解し、適切な取り扱いができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各自の意図に応じて個性的な配色となるよう構想し、表現できるようにする。 ・各自の意図に応じて個性的な構図となるよう構想し、表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各自の意図に応じた表現となるよう主体的に発想、構想を行い、創意工夫を重ねさせる。 ・作家や先輩の作品だけでなく、友達の作品も主体的に鑑賞し、自らの参考とするとともに多様な表現への理解を深めさせる。	指導事項 ・色彩・配色の取り扱い方 ・形態・構図の取り扱い方 ・材料用具（アクリルガッシュ）の取り扱い方		○		○	【知識・技能】 ・色彩の効果を理解し、効果的な配色ができているか。 ・形態の特質を理解し、効果的な構図としてまとめあげているか。 ・材料用具の特長を理解し、適切な取り扱いができているか。 【思考・判断力・表現】 ・各自の意図に応じて個性的な配色となるよう構想し、表現できているか。 ・各自の意図に応じて個性的な構図となるよう構想し、表現できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各自の意図に応じた表現への発想、構想、創意工夫に対する自覚的な言及、プレゼンテーションができているか。 ・講評会において、友達の作品の多様な表現への理解が深められているか。	○	○	○	20
2学期	「美術館鑑賞レポート」 【学びに向かう力、人間性等】 ・美術文化に主体的に接する機会を設け、生涯にわたって美術を愛好できるようにする。	指導事項 ・首都圏の美術館・展覧会の紹介 ・美術館鑑賞の手引き				○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に美術館・展覧会を調べ訪れ、能動的な鑑賞によって美的経験を得られているか。			○	2
2学期	「鉛筆静物デッサン」」 【知識及び技能】 ・3次元の形態を観察し、2次元に表現できるようにする。 ・陰影描写による立体的表現ができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各自モチーフを十分観察し、各自のものの見方で平面に表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各自の意図やものの見方に応じて、表現を十分探求させる。 ・作家や先輩の作品だけでなく、友達の作品も主体的に鑑賞し、自らの参考とするとともに多様な表現への理解を深めさせる。	指導事項 ・観察に基づく描画の方法の段階的習得 ・材料用具（鉛筆）の取り扱い方	○			○	【知識・技能】 ・形が正確に取られているか。 ・陰影表現が十分なされているか。 ・質感・空間等の表現がなされているか。 【思考・判断力・表現】 ・知識・技能を踏まえ十分観察した上で、各個人に応じた個性的表現がなされているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各自の意図に応じた表現への探求に関する自覚的な言及、プレゼンテーションができているか。 ・講評会において、友達の作品の多様な表現への理解が深められているか。	○	○	○	20
3学期	「ペットボトルのラベルデザイン」 【知識及び技能】 ・各自の意図に応じた多様な発想・構想の方法を理解できるようにする。 ・文字のデザインの知識と方法を理解できるようにする。 ・ロゴマークの知識と方法を理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各自の意図が最も生かされる自由で多様な発想・表現ができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各自の意図に応じて、多様な発想を試み、個性的な表現を追求させる。 ・作家や先輩の作品だけでなく、友達の作品も主体的に鑑賞し、自らの参考とするとともに多様な表現への理解を深めさせる。	指導事項 ・意図（コンセプト）の設定、発行・構想の展開の方法 ・文字のデザイン（レタリングを含む）の表現 ・ロゴマークの表現		○		○	【知識・技能】 ・各自の意図に応じ多様な発想・構想の方法を試みているか。 ・文字のデザインの方法を理解し、表現できているか。 ・ロゴマークの方法を理解し、表現できているか。 【思考・判断力・表現】 ・各自の意図の表現への構想を重ねた上で、個性的な表現が開示されているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各自の意図に応じた発想・構想に関して自覚的な言及、プレゼンテーションができているか。 ・講評会において、友達の作品の多様な表現への理解が深められているか。	○	○	○	26
											合計 70